

調査期間 2012年7月16日～継続中
所在地 伊勢原市子易
時代 近世・中世・古墳・縄文
調査原因 中日本高速道路株式会社による新東名高速道路建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査
遺跡位置 小田急小田原線伊勢原駅の北西3.5kmの鈴川右岸段丘上に位置する。



主な調査成果

平成25年7月から継続して中・近世面の調査を実施しています。これまでに竪穴状遺構・井戸址・段切状遺構・溝状遺構・鉄鍋や播鉢が埋置された土坑、調査区西側隣接地に存在していたとされる『安楽寺』に関係すると思われる苑池状遺構や、参道と考えられる東西方向の道状遺構などがみつかっています。また、調査区中央北縁の法面付近では、古墳時代の横穴墓と思われる掘り込みが見つかりました。確認されたのは「前庭部」と呼ばれる開口部の前面に展開する空間で、側壁に沿って石積みがなされた特徴的な形態を呈しています。この前庭部と目される部分の底面から破砕された状態の須恵器長頸瓶が出土しています。玄室は調査区外に潜り込んでいるようで、現在、その部分を拡張して調査を行っているところです。



1区北中世面全景



1区北横穴墓



鉄鍋・播鉢が埋置された土坑



前庭部出土長頸瓶